



図書館だより

図書館本館 (広見) ☎0111 5120
帷子分館 ☎0111 8530
桜ヶ丘分館 ☎0111 3473

開館時間
本館 火～金 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日
本館・分館共通
毎週月曜日、27日(金)

展示のご案内 (本館)

「ぎふの森と里山展」
(ぎふ森林づくりサポートセンター)

期間 2月26日(木)まで
岐阜県は県土の約82%が森林である全国有数の森林県です。県内の豊かな森林と里山について知り、森林づくりと里山保全の活動を始めましょう。

新しく入った本

「花野に眠る」
森谷明子 / 著 (東京創元社)
「決戦! 関ヶ原」
伊藤潤ほか / 著 (講談社)
「今日からはじめるやさしい陶芸入門」
上村祥雄 / 著 (金園社)

「『知』のビジュアル百科」全50巻
(あすなろ書房)

「僕たちの国の自衛隊に21の質問」
半田滋 / 著 (講談社)

「動物の知っている世界」
ギョーム・デュブラ / 著
渡辺滋人 / 訳 (創元社)

「メリーさんのひつじ」
ウィル・モーゼス / さく
こうのすゆきこ / 訳 (福音館書店)

図書館講座 読み聞かせボランティア講座

期日 3月4日(水)
場所 図書館本館3階 学習室
時間 午後1時30分～3時
講師 今井美都子さん(児童書専門店主、児童文学研究家)
定員 40人(先着順)
受付開始 2月10日(火)
昔話絵本を使った勉強会です。岐阜県図書館所蔵の「読みくらべ絵本セット」を見て勉強します。読み聞かせボランティアをしている人、興味のある人は、ぜひ参加してください。

CATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ「可児」で毎日放映中!!
(デジアナ7ch、デジタル12ch)

2/7(土)～13(金) ようこそ!市長室へ	2/21(土)～27(金) ●好きなのはカニダー
2/14(土)～20(金) 簡単!山ごはんレシピ Kルートで行こう!	2/28(土)～3/6(金) ●豊蔵の世界 vol.2

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・22:00
土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00
※番組の内容や時間は変更することがあります。デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

FM rara 55.5
76.8MHz
KANI, MINOKAMO, MITAKE

番組案内
●木曜日 11:20～
「ようこそ!市長室へ」(第1)
「可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」」(第2, 4)
「可児市役所からこんにちは」(第3)
●月～金曜日 8:00～「おはよう可児市役所」
●毎週土曜日 10:00～「発見!可児の魅力」

もう一度確認を! 災害時の情報収集

災害が発生した時、または災害が発生する恐れのある時に、防災に関する情報を市民の皆さんにお知らせします。

「防災無線」電話で確認サービス

専用電話番号 ☎0574 62 1548

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

防災無線

市内各地の防災スピーカーを通じて緊急放送を流します。

すぐメールか

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。

登録方法はコチラ



ガラスと可児市



ようこそ! 市長室へ



楽しみが詰まった「わくわく体験館」



硝子製造の経費が分かる江戸末期の貴重な資料



土田村の工場跡地から出土した埴塙。青く見える部分がガラス。

ステンドグラスやガラスのランブシェードから漏れる明かりの美しさ。ガラスは、不思議な魅力と華やかさを、私たちの日常に添えます。お気に入りのロックグラスやブランドグラス、ワイングラス

スで楽しむお酒が、幸せな気分での一日を閉じてくれます(もちろん、日本酒は可児の陶芸作家によるぐい呑ですが)。そんなガラスと可児市には、とても深い縁があることを、皆さんご存知でしょうか?長崎に伝わった吹きガラスという技法で、日本のガラス製造が始まったのが17世紀といわれます。その後、大阪、京都へと伝わり、19世紀になって江戸と美濃が始まったとされています。この美濃が当時の美濃国可児郡土田村で、全国でも4,5番目

という早い時期でした。石塚岩三郎という人物が、長崎で「びいどろ」製法を習得し、その材料となる良質な硅石を、偶然土田で発見したことが始まりでした。1819年に製造が始まり、1888年に名古屋に進出するまでの70年間、可児で「びいどろ」がつくられました。当時のガラス製法技術を約200年間にわたって引き継ぐという、他に例のない貴重な歴史を伝えてくれているのが「わくわく体験館(☎01515)」です。市長室にも、岩三郎が尾張のお殿様に献上したとされる「金魚玉」(金魚を入れて運ぶガラス製の器)を、当時の技法で再現した貴重な作品が飾られています。

「わくわく体験館」では、歴史の再現と伝承の他に「吹きガラス」や「トンボ玉」「サンドブラスト」ステンドグラスなどの工芸体験を、子どもから本格派までの多彩なメニューで用意しています。市長室にあるティファニー風卓上ランプやバラのピンバッジ、そしてテラリウムも素敵です。テラリウムには、大好きな観葉植物を植え込んで、楽しんでいきます。さらに、「わくわく体験館」には宿泊施設や体育館もあり、近隣には多目的スポーツ広場もあって、家族連れからグループまで、さまざまな利用が可能です。貴重な可児の歴史に触れながら、ガラス工芸体験やスポーツ、レクリエーション、会議、家族団らんに、ぜひ「わくわく体験館」をご利用ください。

可児市長 岩三郎



体験館で制作したオリジナル作品の実用例。日常生活を華やかに彩ります。